

満足度**98.9%**
2022年度実績

若手社員の持つ 本来の意欲を醸成し 成長を促すための 管理職・リーダー研修



側面支援型の教育による若手社員の動機づけ・育成手法



現代の若手社員には従来のぐいぐい引っ張っていくようなリーダーシップが通用しなくなってきました。

価値観の違いや特性の多様化などもあり、教育はまさにオーダーメイド。一人ひとりの特性を捉え、関わり方を柔軟的に変えていく必要があります。

そのためには、若手社員の日々の言動やミスの傾向などから特性を的確に見立てていく必要があります。

その見立てを以て、彼らの自立と成長の背中押しをするアプローチを側面支援型の教育と呼んでいます。

この研修では皆様の部下である若手社員について、いくつかの切り口から統合的に見立てていき、彼らへの適切なアプローチを模索していきます。

大学卒業後、3年間の間小売業に従事。チーフとして部門内マネジメントを行いながら、大学生の新卒採用業務を兼任。

その後、キャリア教育のNPO法人に入職。厚生労働省認定事業の地域若者サポートステーションに従事。施設のセンター長、総括コーディネーター、企業マッチングのコーディネーター、セミナー講師を務め、のべ6500名以上の若者の就労に携わる。

現在は、民間企業の従業員へキャリアコンサルティングを行いながら、企業課題の抽出をし、組織改善に活かしている。

大学・職業訓練校等の教育機関での講師や学生向けに就職支援を行っている。

国家資格キャリアコンサルタント/訪問型職場適応援助者
ボトムアップファシリテーター（エグゼクティブ）



講師 假屋翔太

株式会社活コンサルタント

〒465-0025 名古屋市名東区上社1-1305 2C

TEL：052-364-9260

URL：https://www.kconsulting.jp



詳細・お問い合わせ
はこちらから

※1回3時間×3回コース(20名受講の場合)のカリキュラム(例)

	内 容	金額 (税込)
課題前	●研修参加者の方は教育対象者を決め、「部下情報シート」を作成し事前に提出	---
1回目	●現代の若手社員の教育の考え方 ・側面的支援とは ・キャリア視点とメンタル視点 ●若手社員の傾向とコミュニケーションギャップ ・働き方の意識 ・退職理由の本音 ・上司への期待と不安・心理的安全性と居場所感 ●見立ての視点(発達特性)と関わり方 ・不注意、物忘れ、納期遅れ ・こだわりと過集中 ・想像力 ・ワーキングメモリ	¥160,000
2回目	●実践課題の共有と振り返り ●見立ての視点(メンタル状態)と関わり方 ・ストレッサー、ストレス反応 ・人材育成における異常管理 ・ダブルバインド、スタンダード ●側面的支援のための1対1面談の取り入れ方と注意点	¥160,000
3回目	●実践課題の共有と振り返り ●見立ての視点(認知の偏り) ・意識が変われば行動が変わる…? ・認知の偏りのパターン解説と事例 ・アプローチ方法 ●直接の関わりと環境視点 ・若手に意欲と自信が湧いてくる5つの実感 ・叱り方、褒め方のポイント ・若手活躍の環境づくり	¥160,000

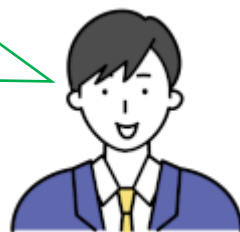
毎回チャレンジ課題がでるため直接実践に繋がり、振り返りを通して学び合いを繰り返していきます

※研修費用は時間・人数により変動します。お気軽にお問い合わせください。

◆研修アンケート(一部抜粋) 自動車機械設計A社様(社員400名)

自己理解

部下との関わり方や見立て(決めつけるのではなく、あくまで特性の1つ)の視点を学ぶ一方、事故の思考や物の見方の特性も理解する必要があります。発達特性については自身にも当てはまる所があり、今後の育成方法を検討する中で意識して活用していきたいです。
若手育成についてのスタンスが3階の研修を通して大きく変わりました。



社内外ギャップの理解

教育対象者の傾向分析より、自社社員の共通課題が得られたことは良かったです。また、自社外の世間の状況を知ることができたことで、世代間のギャップを感じ、今後の指導育成にあたっては、世代の特性に合わせた支援を実施していく必要性を感じました。
グレーゾーンの人は5人に1人という結果を驚いたと同時に、普通の事なのだと考えたことが、最大の気付きでありました。



自己理解

簡単にできていると思っていることが、若手社員は難しいと感じていることが意外と多いです。「わからないことは聞いて(相談して)」は若手にとっては難易度が高く、この辺りの若手とのギャップを減らしていかなければならないと感じました。
状態が良くない方へのNGワードの中で、「気分転換に〇〇してみたらどう?」というのは言ってしまいがち。したくても出来ない場合があることに衝撃を受けました。



株式会社活コンサルタント

〒465-0025 名古屋市名東区上社1-1305 2C

TEL: 052-364-9260

URL: <https://www.kconsulting.jp>



詳細・お問い合わせ
はこちらから